

糸島市国際交流基本計画

平成23年3月

糸 島 市

目次

1 策定にあたって

- (1) 計画策定の意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (3) 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2 国際交流の現状

- (1) 歴史・立地条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 人の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (3) 姉妹都市・友好都市交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (4) 民間の国際交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (5) 青少年の国際交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- (6) 地域における国際交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (7) 外国人研究者や留学生からの視点・・・・・・・・・・ 10

3 国際化を推進するにあたっての課題

- (1) 国際化に向けた環境づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- (2) 多文化共生の意識づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- (3) 国際交流推進の体制づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

4 推進体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

5 重点プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

6 国際交流推進施策及び事業

- (1) 国際化に向けた環境づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- (2) 多文化共生の意識づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- (3) 国際交流推進の体制づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

資料

- 糸島市国際交流アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- 校区及び公民館における国際交流事業・・・・・・・・・・ 27
- アメリカ合衆国カリフォルニア州エスカンティッド市との交流経過・・・・・・・・・・ 30
- 中華人民共和国上海市青浦区との交流経過・・・・・・・・・・ 32
- 大韓民国金海文化院と糸島市国際交流協会の交流経過・・・・・・・・・・ 36

1 策定にあたって

(1) 計画策定の意義

今日、私たちを取り巻く社会は、交通や通信手段の飛躍的な発達により、ヒト、モノ、情報の交流は国境を越え、世界がより身近なものに変わりました。観光やビジネス、留学で日本を訪れる外国人も多くなり、国際結婚や永住資格の取得により日本に生活基盤を置く外国人も珍しくありません。

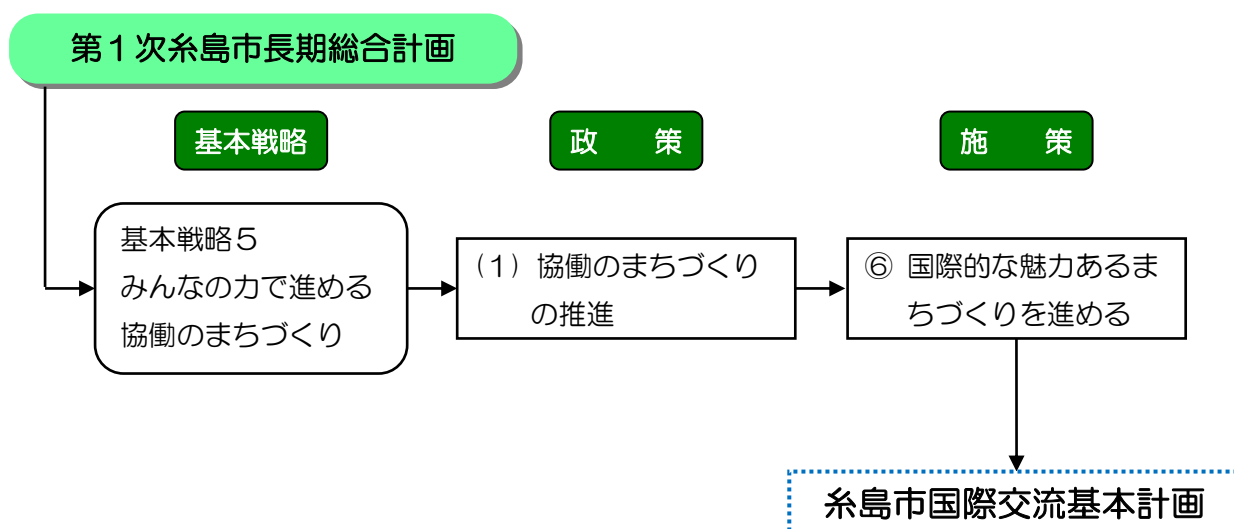
本市におきましても、永住資格を取得した多くの外国人が生活をしています。特に、九州大学の伊都キャンパスへの移転により、キャンパス周辺に外国人研究者や留学生が増加しているため、文化や風習の違いで慣れない暮らしをしている市内外国人居住者に対する市民との交流や生活環境の整備を進め、本市での生活に順応してもらえるよう支援に取り組む必要があります。

また、市民の国際化意識の醸成、国際社会を担う人材育成、外国へ向けた本市の魅力の発信など、世界に開かれたまちづくりを展開する必要性も高まっています。

そこで、糸島地域を取り巻く環境の変化に適切に対応し、本市の持つ特徴を生かした国際的で魅力あるまちづくりを目指すために本計画を策定します。

(2) 計画の位置づけ

この計画は、第1次糸島市長期総合計画を上位の計画としたものです。市民協働で国際的な魅力あるまちづくりを進めることを明確にしたうえで、目標達成に向けた施策や事業などを総合的、体系的に示すものです。



(3) 計画の期間

計画の期間は、平成23年度(2011年度)から平成32年度(2020年度)までの10年計画とします。ただし、社会環境の変化や計画の進捗状況などに応じて見直しを行います。

2 国際交流の現状

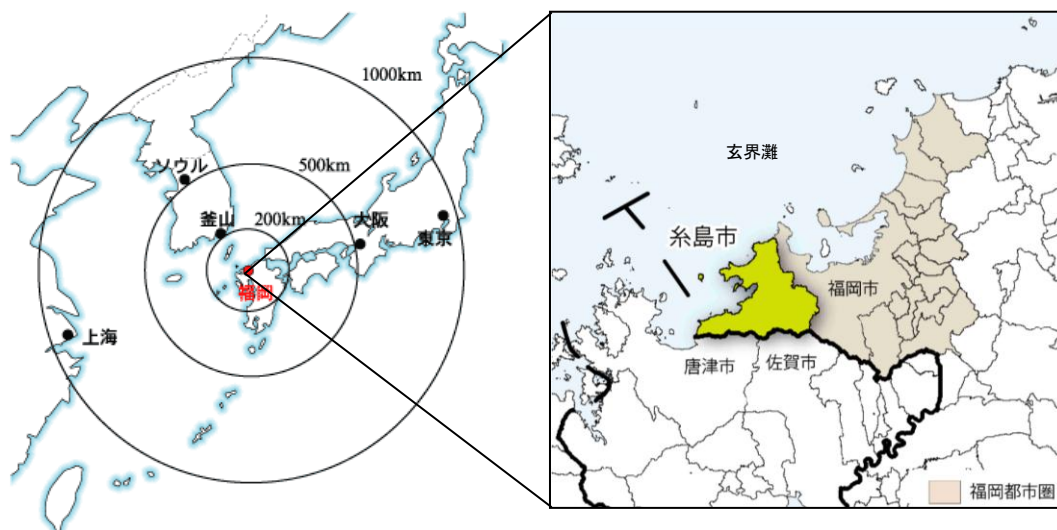
(1) 歴史・立地条件

本市は、中国大陸・朝鮮半島と一衣帯水の距離にあり、中国の歴史書「魏志倭人伝」に記されている「伊都国」があった地として栄え、古くから大陸の玄関として、交流が盛んに行われてきました。

また、本市は、福岡県の空の玄関口である福岡空港から車でおよそ 35 分、海の玄関口である博多港からおよそ 30 分の距離にあり、福岡県内でも外国から訪れやすい場所に位置しています。

このように、歴史的背景・立地条件からも本市は、異文化交流に恵まれた条件にあります。

●本市の位置



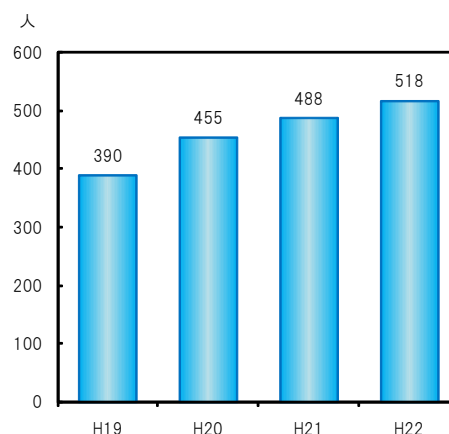
(2) 人の動き

平成 22 年(2010 年) 3 月末現在の本市の外国人登録者数は 518 人で、本市の人口の 0.52% を占めています。本市に住む外国人の数は、10 年前と比較すると 2 倍以上に増加しており、人口の伸び率に比べはるかに大きくなっています。国籍別では、中国国籍が 147 人と最も多く、在留資格別では、永住者^{※1}や特別永住者^{※2}に次いで就学^{※3}や留学が多くなっています。

平成 17 年(2005 年)には、本市に九州大学伊都キャンパスが開校し、平成 22 年(2010 年) 8 月現在、589 人の留学生が伊都キャンパスに在籍しています。平成 20 年(2008 年)には、九州大学が、国の「留学生 30 万人計画」(国際化拠点整備事業(グローバル 30))の拠点大学に指定され、平成 32 年(2020 年)までに、大学全体で留学生を 3,900 人受け入れることを目標としています。これにより、伊都キャンパスに通う留学生は、現在の約 5 倍の 3,080 人になると予測されており、外国人居住者のうち、特に留学生の数が増加することが予想されます。

●外国人登録者数の推移

各年 3 月末現在



資料：外国人登録者数

●外国人数の推移

	外国人数(人)					伸び率(%)			
	H2	H7	H12	H17	H22	H2-H7	H7-H12	H12-H17	H17-H22
旧前原市	113	164	182	250	-	45.1	11.0	37.4	-
旧二丈町	10	7	13	26	-	▲ 30.0	85.7	100.0	-
旧志摩町	17	20	28	41	-	17.6	40.0	46.4	-
糸島市	140	191	223	317	518	36.4	16.8	42.2	63.4
糸島市人口総数	77,610	88,691	95,040	97,974	100,551	14.3	7.2	3.1	2.6

資料：国勢調査(平成 2 年～平成 17 年)、外国人登録者数(平成 22 年)

●国籍別外国人登録者数(上位 10 国)

平成 22 年 3 月末現在

国籍	人数
1 中国	147
2 朝鮮と韓国	142
3 フィリピン	50
4 ベトナム	43
5 マレーシア	26
6 米国	25
7 英国	12
8 ネパール	9
9 フランス	7
10 インド	6

資料：外国人登録者数

※1 永住者…法務大臣から永住の許可を受けた者

※2 特別永住者…平和条約国籍離脱者(韓国・朝鮮半島及び台湾出身者とその子孫)に与えられる在留資格で、その資格を有する者

※3 就学…平成 22 年 7 月から在留資格「留学」と「就学」の区がなくなり、「留学」に一歩化された。

●在留資格別外国人登録者数

平成 22 年 3 月末現在

在留資格	人数
永住者	155
特別永住者	96
就学	82
留学	53
日本人の配偶者等	45
家族滞在	18
特定活動	17
教授	8
宗教	6
興行	6
人文知識・国際業務	5
研修	5
定住者	5
永住者の配偶者等	4
その他	13
合計	518

資料：外国人登録者数

(3) 姉妹都市・友好都市交流

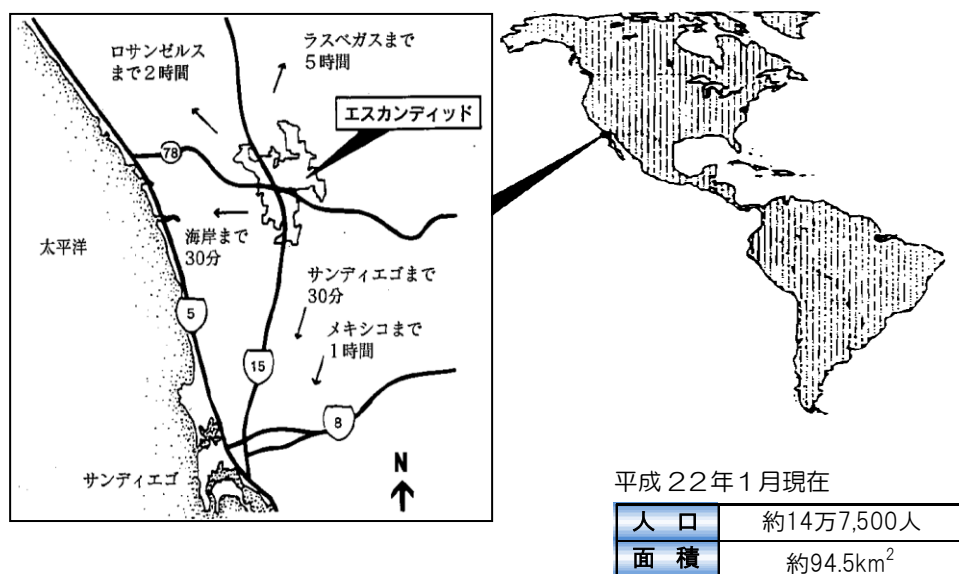
姉妹都市～アメリカ合衆国カリフォルニア州エスカンディッド(Escondido)市～

エスカンディッド市とは、旧前原市議会の議員海外研修で訪問したことがきっかけで交流が始まりました。エスカンディッド市は、カリフォルニア州南部に位置し、農業が盛んで大都市サンディエゴ郊外のライフタウンとして発展した都市です。このようにエスカンディッド市が旧前原市と似た状況にあり、都市整備、教育、産業、福祉などさまざまな分野で参考にできることがあることや、国際交流の取組をなお一層充実させるために、平成8年(1996年)に姉妹都市の締結を行いました。

これまで、中学生や高校生の相互交流(ホームステイ)、国際交流員の受入、現地交流員によるローカル情報の紹介など交流を進めてきました。

しかし、ここ数年、カリフォルニア州及びエスカンディッド市は、非常に財政状況が悪化しています。また、平成19年(2007年)には、大規模な山火事が発生し、エスカンディッド住民の一部が避難する事態になったことなどから、平成20年(2008年)以降、中学生や高校生の相互交流を中断している状況です。

●エスカンディッド市の概要



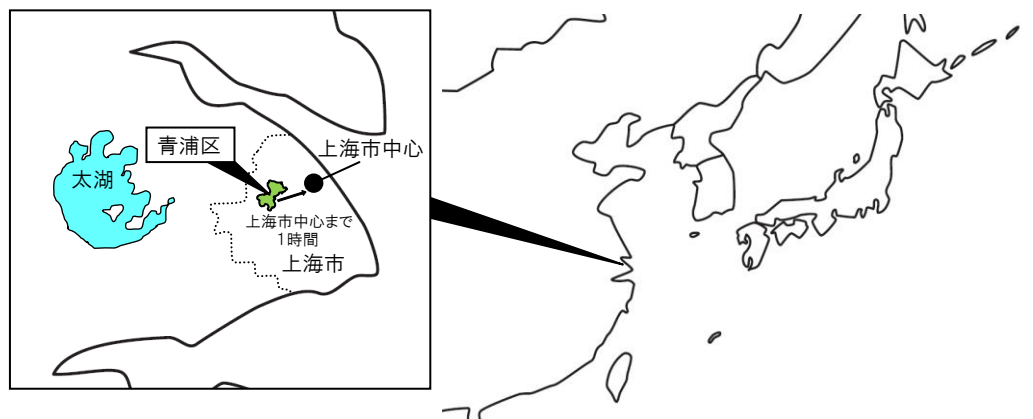
友好都市～中華人民共和国上海市青浦(せいほ)区～

青浦区とは、平成3年(1991年)から糸島地区日中友好協会が中心となり、中学生の相互訪問を主とした教育交流を行ってきました。旧前原市においても、青浦区の教育、農業、経済及び行政の代表者との懇談や施設の視察など、各分野における交流を行ってきました。このような状況に併せて、日中平和友好条約締結20周年の年である平成10年(1998年)に、青浦区人民政府より「前原市民との交流の輪を広げ発展させたい」との要請を受けたことから、友好交流協議書を締結しました。

今日まで、中学生の相互ホームステイや教職員及び議会の相互交流、民間による文化交流などを中心に交流を進めてきました。

平成 21 年(2009 年)は、日本で新型インフルエンザが流行したため、中学生の相互ホームステイと教職員の相互交流については休止しました。現在は、民間による文化交流団の受入及び派遣を行っています。

●青浦区の概要



平成 21 年 12 月末現在

人口	約94万5,700人
面積	約668.49km ²

(4) 民間の国際交流

市民による国際交流を推進しているのが、糸島市国際交流協会です。糸島市国際交流協会の前身である前原市国際交流協会は、民間主体の交流を推進し、国際的で魅力あるまちづくりの創造に寄与することを目的に平成9年(1997年)に設立されました。平成22年(2010年)9月末現在の協会会員数は、417人です。

平成10年(1998年)には、韓国金海(きめ)文化院と友好団体を締結し、小中学生相互交流(ホームステイ)を行ってきました。

現在は、糸島1市2町の合併に伴い、糸島市国際交流協会と名称を改め、青浦区や金海文化院との交流だけでなく、九州大学や市内の日本語学校の留学生との交流にも取り組んでいます。

この他にも、市内の高等学校、糸島ライオンズクラブ、糸島ロータリークラブ、(社)糸島青年会議所、糸島農業協同組合、糸島地区日中友好協会などで国際交流事業が行われています。

糸島市国際交流協会の主な事業

- ① 青浦区訪問団の受入事業
- ② 文化交流訪問団相互交流
- ③ 金海市小中学生相互交流事業
- ④ 世界の料理教室
- ⑤ 九州大学学生サークルとの交流
- ⑥ 国際交流サロン

●糸島市国際交流協会シンボルマーク



(左) 金海市小中学生訪問団受入(平成20年度)



(右) 世界の料理教室(平成21年度)

●民間の活動

■福岡県立糸島高等学校

同窓会の支援を受けながら、平成9年から米国カリフォルニア州マリエタ高校と相互交流(ホームステイ)を実施している。

マリエタ高校との交流以外には、韓国の私立高校との学校交流やハワイ州で日本語を学んでいる高校生との英語を用いた文通などを行っている。

■福岡県立糸島農業高等学校

平成24年に創立110周年を迎えることを記念して、平成22年から10年間、生徒を海外研修に派遣している。

1回目の平成22年は、5人の生徒をシンガポールとマレーシアに派遣し、農業を中心とした研修を実施した。同年には米国ネバダ州から高校生の学校訪問を受け入れ、交流を実施した。

■糸島ライオンズクラブ

数年に1度、留学生のホームステイを行っている。

■糸島ロータリークラブ

国際青少年交換留学生のホームステイを行っている。

私費留学生に対し、ロータリークラブ会員の寄附金を財源に奨学金を支給している。平成22年度は、台湾の留学生1人に支給した。

■(社)糸島青年会議所

韓国釜山水営(すよん)青年会議所と姉妹団体を締結している。

■糸島農業協同組合

糸島産のイチゴや柑橘類を香港やシンガポールなどで販売し、本市の特産物を海外に宣伝している。

■糸島地区日中友好協会

平成4年に設立され、中国語講座や太極拳教室、青浦区との相互交流を実施している。

(5) 青少年の国際交流

青少年の国際交流は、これからの国際社会を担う人材を育成するうえで非常に重要です。

学校教育においては、外国語指導助手(ALT)を活用した英語指導を実施しています。また、旧前原市では、総合的な学習の時間に九州大学の留学生を招き、外国の歴史や風習、生活文化を学ぶ国際理解教育を実施してきました。

学校教育以外では、「アジア太平洋こども会議・イン福岡」こども大使の受入事業(旧前原市)や、中学生を対象にしたネイティブスピーカーによる英会話教室(旧二丈町)を開催し、国際的に幅広い視野を持った子どもたちの育成や英語に親しむ機会の提供に努めてきました。

●アジア太平洋こども会議・イン福岡

〔事業概要〕

平成元年に福岡市で開かれたアジア太平洋博覧会「よかトピア」の事業としてスタートした国際交流のプログラムである。毎年アジア太平洋の国・地域と福岡の子どもたちや市民との交流を行う。

■派遣事業…春に福岡の子どもたちをアジア太平洋の国・地域に派遣する。

■招へい事業…夏にアジア太平洋の国・地域からこども大使を福岡に招く。

旧前原市では、平成4年度から毎年、招へい事業に参加した。

〔受入状況〕

年度	受入国	受入先	年度	受入国	受入先
平成4	タヒチ	市	平成12	ソロモン諸島	国際交流協会
平成5	タヒチ	市	平成13	キリバス	国際交流協会
平成6	中国	市	平成14	ミクロネシア	国際交流協会
平成7	シンガポール	市	平成16	フィジー	国際交流協会
平成8	西サモア	市	平成17	タヒチ	国際交流協会
平成9	ネパール	国際交流協会	平成18	キリバス	国際交流協会
平成10	ミャンマー	国際交流協会	平成19	香港	国際交流協会
平成11	ブータン	国際交流協会	平成20	ニューカレドニア	国際交流協会

※平成15年度は新型肺炎、平成21年度は新型インフルエンザの流行により中止した。



(上) ニューカレドニアこども大使受入(平成20年度)

(6) 地域における国際交流

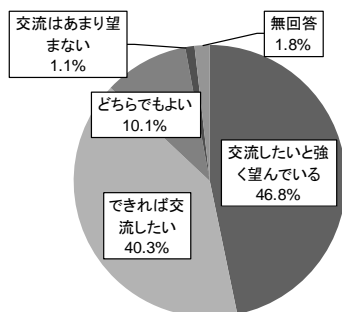
本市では、小学校区を単位としてさまざまな地域交流やまちづくりが行われています。国際交流の分野においても、公民館の講座で外国の語学講座や料理教室を通じて外国の文化を学んだり、校区の文化祭で九州大学留学生が民族舞踊を披露するなど、国際交流の取組が行われています。

また、市民を対象に平成 22 年(2010 年)6月中旬から7月にかけて実施した「糸島市国際交流アンケート」の結果では、外国人居住者や留学生との交流について、「できるだけ交流したい」と「機会があれば交流してみたい」を合わせると6割を超えます。また、留学生の日本人との交流の希望について、(財)福岡国際交流協会が平成 21 年度(2009 年度)に行った調査によると、「交流をしたいと強く望んでいる」と「できれば交流したい」を合わせると、9割近い留学生が日本人との交流を望んでいるという結果です。このように、市民も留学生も交流することを強く望んでいます。

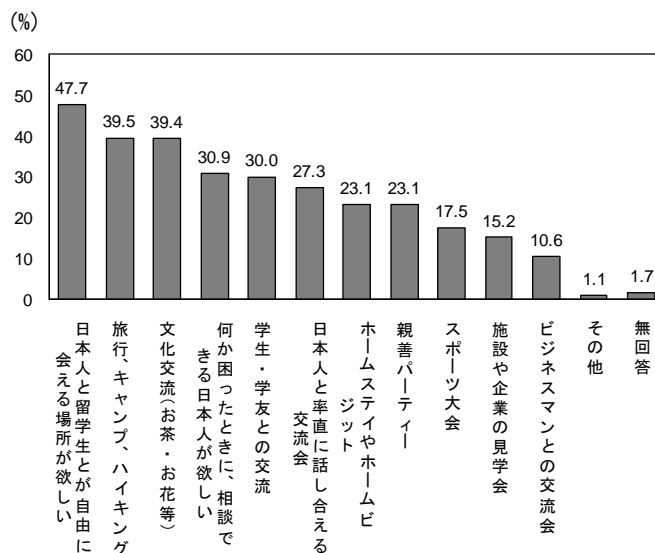
●平成 21 年度福岡都市圏における留学生実態調査 (財)福岡国際交流協会

福岡都市圏の国立大学法人2校、公立大学1校、私立大学14校、短期大学6校の計23校に在籍するすべての外国人留学生在籍者3,807人を対象にアンケートを実施し、663人が回答した。

《日本人との交流希望》



《参加したい交流行事》



(7) 外国人研究者や留学生からの視点

外国人研究者や留学生の生活実態については、(財)九州大学学術研究都市推進機構が平成21年(2009年)に調査を行っています。

この調査によると、本市及び伊都キャンパス周辺地域の生活について、自然環境や地域住民の人柄、治安のよさなどには満足していますが、交通の便の悪さや英語の案内板の不足など、生活環境整備の遅れには不満があります。

また、本市及び伊都キャンパス周辺地域以外に住んでいる外国人研究者や留学生には、これらの地域への転入の意向が少ない状況です。

本市及び伊都キャンパス周辺地域で生活するうえでの不満

外国人研究者

- 外国人研究者向け短期滞在型の宿舎がない。
- 公共交通の便や商業施設などの生活環境整備が遅れている。
- 外国籍の子どもが安心して教育を受けられる体制が整っていない。
- 日本語教室や相談窓口がなく、生活情報が得にくい。

留学生

- 家賃の高い新築物件が多く、低家賃の住居が少ない。
- 公共交通の便や商業施設などの生活環境整備が遅れている。
- アルバイト先が少ない。

3 国際化を推進するに当たっての課題

10年後の本市の外国人居住者数は、外国人登録者数及び九州大学の留学生数の推移から、現在より400人増え、900人を超える見込みです。

このように、外国人居住者の増加が見込まれる本市の現状や社会変化、市民の国際交流に対する意識、外国人研究者や留学生の視点から、課題を大きく3つに分類しました。

(1) 国際化に向けた環境づくり

① 外国人が暮らしやすいまちづくりの推進

外国人居住者も地域社会の一員です。国籍などに関係なく、誰もが暮らしやすいまちを目指すために、言葉や文化の違いなどの障壁を感じることなく、安心して生活できる環境を整備する必要があります。

② 外国からの来訪者を温かく迎えるまちづくりの推進

世界中から集まっている九州大学の外国人研究者や留学生に、本市に対する好印象を持ってもらうことで、彼らが故郷に戻ったときに、本市の魅力を広く伝えてもらうことができます。このように、本市のあらゆる魅力を海外へ発信していくことは、海外からの観光客や企業の誘致とともに、本市の活性化にもつながり、大きな効果が期待されます。そのために、より多くの外国人に本市を訪れてもらい、気持ちよく滞在してもらうことが重要であり、外国語による観光案内などの環境整備が求められます。

(2) 多文化共生の意識づくり

① 市民の国際化意識の醸成と交流機会の充実

本市では、これまで旧市町ごとに国際交流の取組が行われており、アンケート結果からも国際交流については多くの市民が必要を感じています。しかし、地域間の国際化意識には温度差があり、市全体の国際化意識の醸成に至っていません。

地域住民と外国人居住者が、言葉、文化、生活習慣などの違いを認め合い、理解したうえで、共に過ごせる多文化共生[※]の社会を創造していくためにも、市民の国際化意識の醸成が必要です。

また、外国人と市民との交流については、現在行われている地域での料理教室やイベントへの参加を継続するとともに、新しい交流機会の創出が必要です。

※多文化共生…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。(出典「多文化共生の推進に関する研究会報告書」平成18年3月 総務省)

② 国際社会を担う人材育成

子どもの国際感覚を醸成させ、国際社会を担う人材を育成することは極めて重要です。

今後も、より多くの子どもたちに世界の人々と接する機会を提供し、さまざまな国の言葉や文化を学ぶ国際理解教育を充実する必要があります。

③ 姉妹都市・友好都市との交流

協定締結当初と現在では、姉妹都市・友好都市の状況が変わってきています。今後は、本市と新たな協議書を締結して、実情に合わせた交流が必要です。

また、アンケート結果では、本市に姉妹都市・友好都市があることを知らなかったという意見が寄せられました。こうしたことから、市の広報やホームページでの交流情報の発信が必要です。

(3) 国際交流推進の体制づくり

① 国際交流団体や国際交流ボランティアの育成・発掘

民間の国際交流関係団体の活動は、市民の国際化意識を深め、多文化共生社会の実現をけん引するものです。そのためには、糸島市国際交流協会をはじめ、民間の国際交流関係団体との連携強化を図り、糸島市国際交流協会が自立できるよう支援することが必要です。

また、市民の外国人と交流したいという意識を捉えて国際交流ボランティアとして生かすため、活躍できる場所や体制の整備が必要です。

② 国際交流ネットワークの構築

糸島市国際交流協会などが行う国際交流事業については、継続性・発展性が課題となっています。継続的で幅広い国際交流事業を行うには、他の国際交流関係団体との情報の共有や課題解決のための連携が必要です。そのために、国際交流関係団体のネットワークを構築し、連携が図れる体制づくりが欠かせません。

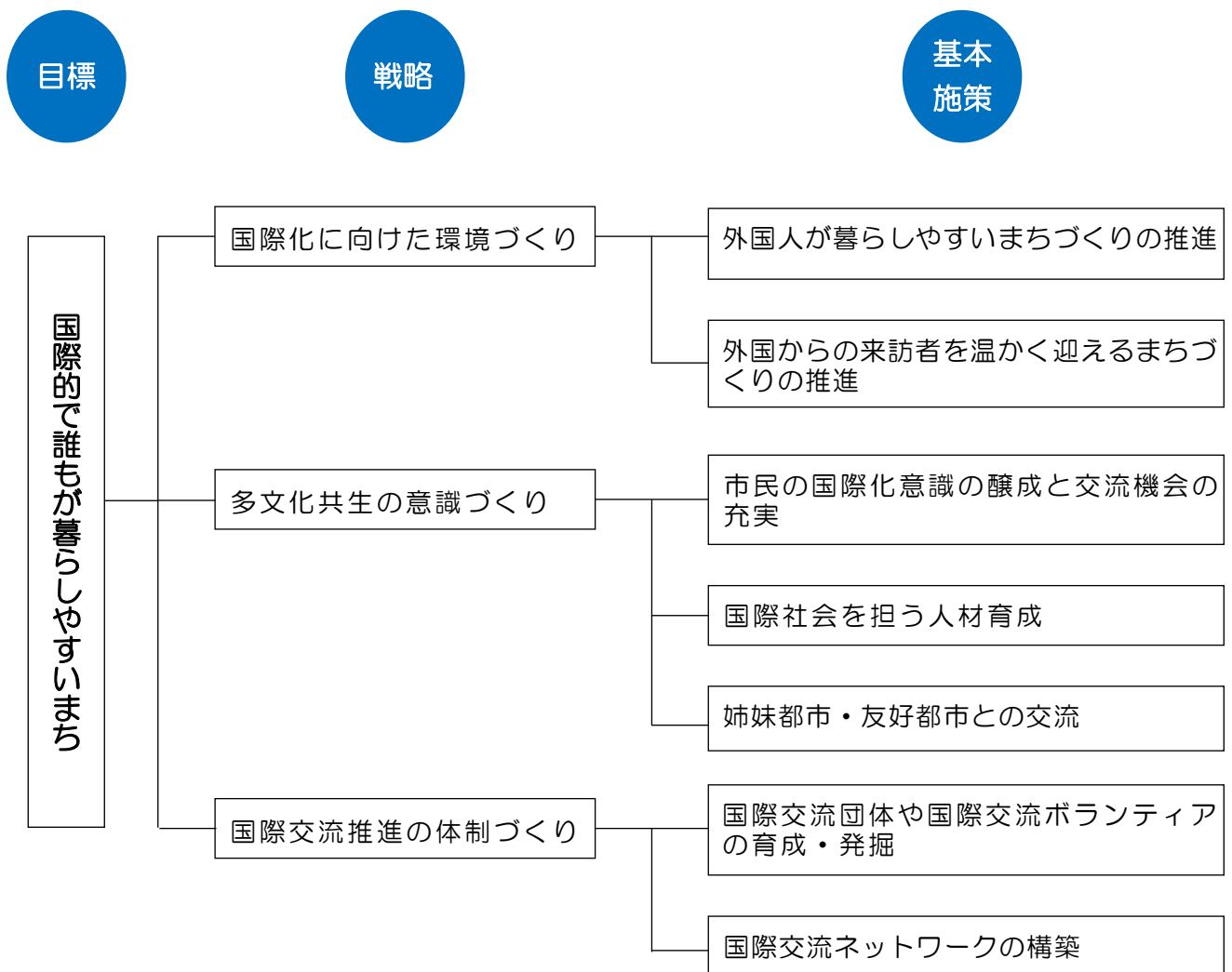
4 推進体系

多様な文化を受け入れ、誰もが国籍にかかわらず地域に溶け込むことができる思いやりを持ったまちを目指すため、本計画の目標(将来像)を

国際的で誰もが暮らしやすいまち

とします。

この目標の実現に向け、次の戦略と基本施策を掲げ、国際交流を推進します。



重点プロジェクト

留学生とともに進める国際交流

5 重点プロジェクト

10年後の本市の外国人居住者は、現在よりも400人増える予想です。増加の要因は、九州大学における留学生の受入増加によるものです。

そこで、留学生とともに進める国際交流を糸島市国際交流基本計画の重点プロジェクトとして位置付け、積極的に推進します。

重点プロジェクト

留学生とともに進める国際交流

文化や風習の違いで慣れない暮らしをしている留学生に対する生活環境の整備に努め、本市での生活に順応してもらえるよう支援します。

また、各国の留学生との交流を通じて市民の国際化意識を醸成するとともに、留学生が母国へ帰国した後も、本市を第二の故郷として慕ってもらえるよう留学生とともに国際交流を進めます。



■交流サロンの設置

外国人と市民が交流するスペースの設置

■コミュニティバス(九大線)の路線増便

留学生の交通の便の確保

■留学生との交流を通じた本市の魅力発信

留学生と市民の交流による本市の魅力発信とイメージアップ

■九州大学連携交流補助制度の活用

留学生と地域の交流の促進

■ショートホームステイの実施

留学生を市民の家庭に受け入れる短期ホームステイの実施

■子どもの国際感覚の育成

留学生による国際理解授業の実施

■インターナショナルキャンプの実施

留学生と市内在住高校生・大学生の交流の促進

6 国際交流推進施策及び事業

目標達成に向けて、基本施策ごとに具体的な事業を掲げます。

なお、事業ごとに事業の内容、事業主体、担当課、実施時期を明示します。実施時期は、前期(平成 23～25 年度)、中期(平成 26～29 年度)、後期(平成 30～32 年度)の 3 区分です。

(1) 国際化に向けた環境づくり

① 外国人が暮らしやすいまちづくりの推進

外国人が暮らしやすいまちづくりを推進するため、外国語による表示や生活情報の提供、相談窓口の設置などの充実を図ります。また、外国人居住者が孤立しないように地域の人と出会い、交流ができる機会を提供します。

事業	各種届出・申請書、生活情報などの外国語表示	内容	日本語がわからない外国人に対し、書き方や内容がわかるように外国語表示した届出や申請書の記載例を作成します。また、ごみの出し方などの生活情報を多言語で提供します。		
事業主体	市	実施時期	前期	中期	後期
担当課	市民課、生活環境課		検討	実施	継続

事業	生活情報説明会の実施	内容	外国人転入者に対し、行政区の役割など、日常生活に必要なとされる知識について学ぶ機会を提供します。		
事業主体	市	実施時期	前期	中期	後期
担当課	地域振興課		検討	実施	継続

事業	空き家などを生かした外国人向け住宅の情報提供	内容	空き家などを活用し、比較的安価な賃貸住宅の情報提供を促進します。		
事業主体	市、企業	実施時期	前期	中期	後期
担当課	施設管理課		検討	実施	継続

平成 24 年度から、担当課が都市計画課から施設管理課に変わりました。

事業	日本語教室の支援	内容	外国人居住者に日本語を教えるボランティアを育成し、活動の支援を行います。		
事業主体	市、国際交流協会	実施時期	前期	中期	後期
担当課	地域振興課		継続	継続	継続

事業	外国人生活相談窓口の設置	内容	本市に長く在住する外国人と協働し、転入後、間もない外国人が気軽に悩みを相談できるよう体制を整備します。		
事業主体	国際交流協会	実施時期	前期	中期	後期
担当課	地域振興課		検討	実施	継続

事業	交流サロンの設置	内容	外国人が地域の人と日常的に交流や情報交換ができるスペースを設置し、不安軽減や友達づくりを促進します。		
事業主体	市、国際交流協会	実施時期	前期	中期	後期
担当課	地域振興課		実施	継続	継続

事業	案内板や標識の整備・充実	内容	道路や公共施設、交通機関の標記や案内板などの外国語併記、図案表示を推進します。		
事業主体	市	実施時期	前期	中期	後期
担当課	地域振興課、シティセールス課		実施	継続	継続

事業	コミュニティバス(九大線)の路線増便	内容	留学生の交通の便を確保するためにも、コミュニティバス(九大線)の路線を増やします。		
事業主体	市	実施時期	前期	中期	後期
担当課	地域振興課		検討	実施	継続

② 外国からの来訪者を温かく迎えるまちづくりの推進

外国語併記の観光パンフレットやホームページの作成などの観光情報の発信により、外国からの観光客や企業を誘致する体制を整備します。加えて、本市に在住する留学生を通じ、本市の魅力の発信にも努めます。

事業	外国語での市内観光情報の提供	内容	市内の観光情報を外国語で発信し、外国人観光客の増加を促進します。		
事業主体	市、観光協会	実施時期	前期	中期	後期
担当課	シティセールス課		実施	継続	継続

事業	外国語併記の観光パンフレットの作成	内容	外国からの観光客のために外国語を併記した観光パンフレットを作成します。		
事業主体	市、観光協会	実施時期	前期	中期	後期
担当課	シティセールス課		実施	継続	継続

事業	外国語観光案内ボランティアの設置	内容	外国語で観光地を案内するボランティアガイドを要請に応じて派遣できる体制を整備します。		
事業主体	市、観光協会、国際交流協会	実施時期	前期	中期	後期
担当課	シティセールス課、地域振興課		検討	実施	継続

事業	留学生との交流を通じた本市の魅力発信	内容	九州大学や市内の日本語学校で学ぶ留学生との市民交流を推進し、本市に対するイメージアップを図り、経済交流に発展させるための礎をつくりま		
事業主体	市	実施時期	前期	中期	後期
担当課	地域振興課、学研都市づくり課、シティセールス課		実施	継続	継続

事業	姉妹都市・友好都市をはじめとする海外へのアピール・誘致・販売促進活動	内容	本市の観光地や特産品、先端産業などについて、姉妹都市・友好都市をはじめとする海外にアピールし、観光客の増員及び特産品販売促進や企業誘致の促進を図ります。		
事業主体	市、企業	実施時期	前期	中期	後期
担当課	商工振興課、シティセールス課		検討	実施	継続

事業	外国人観光客おもてなし研修	内容	市内の飲食店などの事業者を対象に、中国人、韓国人観光客への接客を想定した接客研修を実施します。		
事業主体	市、商工会	実施時期	前期	中期	後期
担当課	シティセールス課、地域振興課		実施	継続	継続

(2) 多文化共生の意識づくり

① 市民の国際化意識の醸成と交流機会の充実

異文化理解講座や外国文化の学習機会の充実を図ります。また、誰もが気軽に参加でき、交流を深めることができる事業の充実を図ります。

事業	国際理解講座やイベントの実施	内容	市民の国際化意識や外国人との相互理解の醸成を推進するため、講座や学習会などを開催します。		
事業主体	市、市教育委員会、国際交流協会				
担当課	生涯学習課、人権・男女共同参画推進課、地域振興課	実施時期	前期	中期	後期
			検討	実施	継続

事業	九州大学連携交流補助制度の活用	内容	九州大学留学生と地域との交流や、次世代を育成する事業を推進します。		
事業主体	市、地域、九州大学				
担当課	学研都市づくり課	実施時期	前期	中期	後期
			継続	継続	継続

事業	ショートホームステイの実施	内容	九州大学や市内の日本語学校で学ぶ留学生を市民の家庭に受け入れ、交流を行います。		
事業主体	市、国際交流協会、民間関係団体、九州大学、市内日本語学校				
担当課	地域振興課、学研都市づくり課	実施時期	前期	中期	後期
			検討	実施	継続

② 国際社会を担う人材育成

外国のことを学ぶとともに、日本や郷土の歴史や文化を知って伝えることができるよう、子どもの頃から国際感覚を身に付ける必要があります。このように、国際社会に対応できる人材を育成するため、言葉やさまざまな国の文化を学ぶ国際理解教育を推進します。

事業	子どもの国際感覚の育成	内容	外国語指導助手(ALT)や留学生を活用し、子どもの国際感覚の育成を図ります。		
事業主体	市、市教育委員会				
担当課	教育総務課	実施時期	前期	中期	後期
			継続	継続	継続

事業	国際交流窓口の設置	内容	国際交流関係機関の連携を図るため、市、九州大学、市内の日本語学校に国際交流窓口を設置します。		
事業主体	市、九州大学、市内日本語学校				
担当課	地域振興課、学研都市づくり課	実施時期	前期	中期	後期
			実施	継続	継続

事業	インターナショナルキャンプの実施	内容	市内在住の高校生や大学生と九州大学や市内の日本語学校で学ぶ留学生との交流を推進します。		
事業主体	市、国際交流協会	実施時期	前期	中期	後期
担当課	地域振興課、学研都市づくり課		検討	実施	継続

事業	「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」子ども大使受入事業	内容	「アジア太平洋子ども会議・イン福岡」の子ども大使受入の行政窓口として参加します。		
事業主体	市	実施時期	前期	中期	後期
担当課	地域振興課		継続	継続	継続

③ 姉妹都市・友好都市との交流

姉妹都市・友好都市と新たな協議書を締結し、交流の推進・交流内容の情報発信に努めます。

事業	姉妹都市・友好都市と本市との協議書の締結	内容	姉妹都市や友好都市と本市との間で新たな協議書を締結します。		
事業主体	市	実施時期	前期	中期	後期
担当課	地域振興課		実施	継続	継続

事業	姉妹都市・友好都市との交流	内容	人的交流、文化交流、スポーツ交流など双方の実情に合わせた交流を推進します。		
事業主体	市、市教育委員会	実施時期	前期	中期	後期
担当課	地域振興課、教育総務課		検討	検討	検討

事業	交流情報の発信	内容	市の広報やホームページを活用して交流情報を発信します。		
事業主体	市	実施時期	前期	中期	後期
担当課	地域振興課		実施	継続	継続

(3) 国際交流推進の体制づくり

① 国際交流団体や国際交流ボランティアの育成・発掘

糸島市国際交流協会をはじめ、民間の国際交流関係団体による活動を支援するとともに、自主的活動の強化を図ります。

また、国際交流ボランティアを発掘し、活躍できる機会の提供に努めます。

事業	国際交流団体の支援	内容	糸島市国際交流協会をはじめ、国際交流関係団体との連携強化を図り、市民主導の国際交流活動の支援を行います。		
事業主体	市、国際交流協会、民間関係団体	実施時期	前期	中期	後期
担当課	地域振興課		継続	継続	継続

事業	国際交流ボランティアの発掘・活用	内容	通訳や翻訳、日本文化の紹介などを行う国際交流ボランティアの登録を呼びかけ、いつでも活用できる体制を整備します。		
事業主体	国際交流協会	実施時期	前期	中期	後期
担当課	地域振興課		実施	継続	継続

② 国際交流ネットワークの構築

民間の国際交流関係団体相互で課題の共有や連携が図れるよう、糸島市国際交流協会を核としたネットワークづくりを推進します。

事業	民間国際交流関係団体間のネットワークづくり	内容	民間の国際交流関係団体相互が課題解決などの協力ができるよう意見交換会などを開催します。		
事業主体	国際交流協会、民間関係団体	実施時期	前期	中期	後期
担当課	地域振興課		実施	継続	継続

資料

糸島市国際交流アンケート結果

○アンケート対象	糸島市民
○アンケート期間	平成22年6月16日～7月31日
○アンケート方法	校区公民館にアンケート用紙とアンケート回収箱を設置

配布数	1,651
回収数	510
回収率	30.9%

回答者の属性

性別

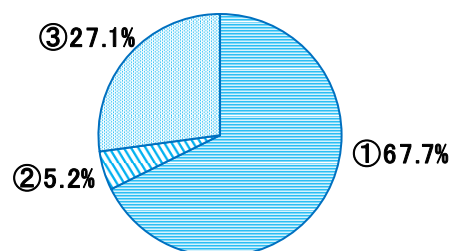
男性	48.2%
女性	49.2%
未回答	2.5%

年齢

10歳未満	1.0%
10～19歳	2.5%
20～29歳	1.6%
30～39歳	5.7%
40～49歳	8.0%
50～59歳	13.7%
60～69歳	40.2%
70歳以上	25.9%
未回答	1.4%

Q1 これまで糸島地域では、旧市町ごとに国際交流の取組を行ってきましたが、糸島市でも国際交流を推進する必要があると思いますか？

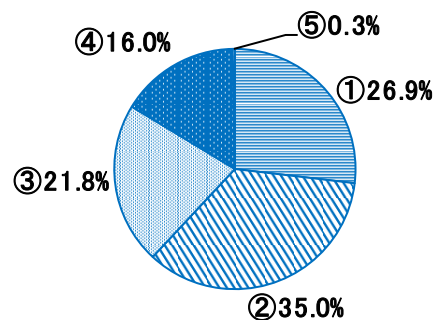
① 必要である	67.7%
② 必要でない	5.2%
③ わからない	27.1%
回答数	501



「必要である」が 67.7%と約 7 割の人が糸島市でも国際交流を推進する必要があると感じているようです。

Q2 [Q1で1を選んだ人] 国際交流を推進する意義をどのように考えていますか？ 最もあてはまるものを1つ選んでください。

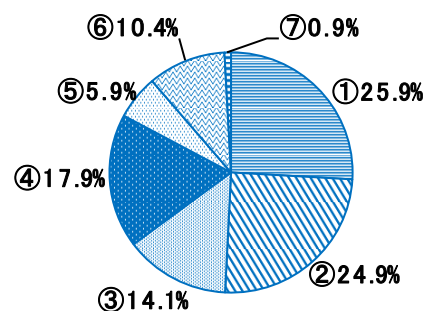
① 国際社会に通用するための知識・感覚が身につく	26.9%
② お互いを理解し合うことができる	35.0%
③ 外国の文化や考え方を知ることができる	21.8%
④ 日本の文化や社会などを知ってもらえる	16.0%
⑤ その他	0.3%
回答数	331



「お互いを理解し合うことができる」が 35.0%でもっとも高く、次に「国際社会に通用するための知識・感覚が身につく」が 26.9%、「外国の文化や考え方を知ることができる」が 21.8%、「日本の文化や社会などを知ってもらえる」が 16.0%の順になっています。

Q3 [Q1で1を選んだ人] 糸島市では、今後どのような国際交流を推進していくべきだと思いますか？（複数回答可）

① 市民の国際理解を深める	25.9%
② 国際感覚をもった人材を育てる	24.9%
③ 外国との交流を促進する	14.1%
④ 外国人居住者や留学生と交流する	17.9%
⑤ 外国人に配慮した環境づくりを進める	5.9%
⑥ 国際交流ボランティアを育てる	10.4%
⑦ その他	0.9%
回答数	575



「市民の国際理解を深める」が 25.9%、次に「国際感覚をもった人材を育てる」が 24.9%、「外国人居住者や留学生と交流する」が 17.9%、「外国との交流を促進する」が 14.1%の順になっています。

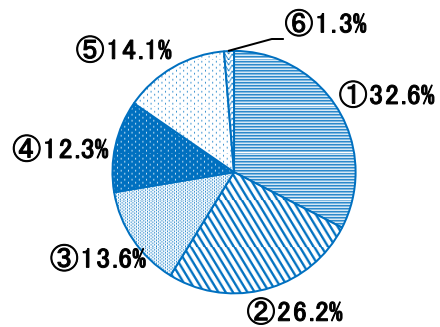
「外国人居住者や留学生と交流する」と回答した人が「外国との交流を促進する」と回答した人より多く、遠くの外国よりも、身近な外国人居住者や留学生との交流を進めていくことが重要だと感じている人の割合が高くなっています。

Q4 糸島市には、姉妹都市と友好都市があります。今後、これらの都市とどのような交流をしていくことが必要だと思いますか？（複数回答可）

① 姉妹都市：米国カリフォルニア州エスカンディッド市

（位置：カリフォルニア州南部、面積：約 94.5km²、人口：約 14 万 7,500 人）

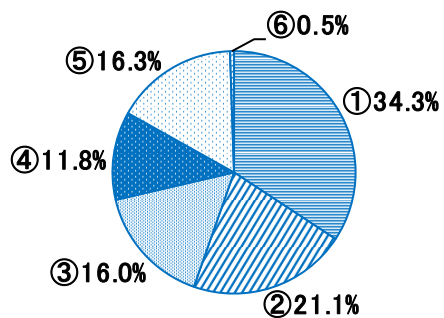
① 文化交流やスポーツ交流	32.6%
② 青少年のホームステイ	26.2%
③ 交流団の派遣や受入	13.6%
④ 研修員の受入、共同研究などの技術協力	12.3%
⑤ 姉妹都市からの観光客誘致	14.1%
⑥ その他	1.3%
回答数	611



② 友好都市：中国上海市青浦区

（位置：上海市西部、面積：約 668.49km²、人口：約 94 万 5,700 人）

① 文化交流やスポーツ交流	34.3%
② 青少年のホームステイ	21.1%
③ 交流団の派遣や受入	16.0%
④ 研修員の受入、共同研究などの技術協力	11.8%
⑤ 友好都市からの観光客誘致	16.3%
⑥ その他	0.5%
回答数	569



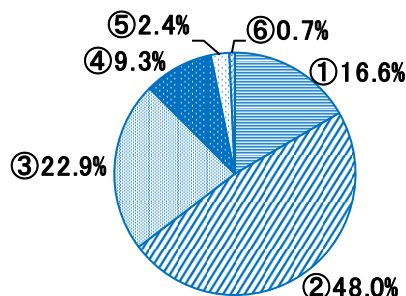
エスカンディッド市との交流については、「文化交流やスポーツ交流」がもっとも多く 32.6%、次に「青少年のホームステイ」26.2%、「姉妹都市からの観光客誘致」が 14.1%、「交流団の派遣や受入」が 13.6%となっています。

青浦区との交流についても、「文化交流やスポーツ交流」がもっとも多く 34.3%、次に「青少年のホームステイ」21.1%、「友好都市からの観光客誘致」が 16.3%、「交流団の派遣や受入」が 16.0%

と姉妹都市と同じ順位になっています。

Q5 外国人居住者や留学生と交流したいと思いますか？最もあてはまるものを1つ選んでください。

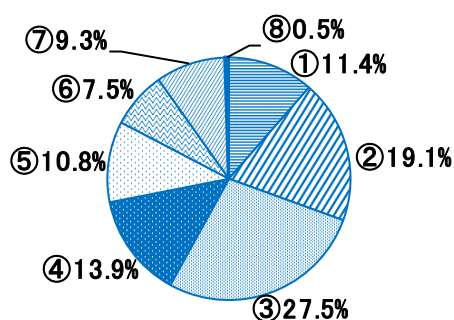
①	できるだけ交流したい	16.6%
②	機会があれば交流してみたい	48.0%
③	交流したいが、言葉や習慣の違いに不安がある	22.9%
④	周りに外国人がいないのでわからない	9.3%
⑤	交流したくない	2.4%
⑥	その他	0.7%
	回答数	410



「できるだけ交流したい」が16.6%、「機会があれば交流してみたい」が48.0%で6割を超える人が外国人居住者や留学生との交流を前向きに感じているようです。

Q6 あなたの地域（校区や行政区）で、やってみたい国際交流事業はありますか？（複数回答可）

①	外国語教室	11.4%
②	外国の料理教室	19.1%
③	外国の文化や生活を学ぶ講座や講演	27.5%
④	外国の文化や遊びの体験	13.9%
⑤	外国人居住者や留学生への日本文化の紹介	10.8%
⑥	ホームステイ・ホームビジット	7.5%
⑦	特にない	9.3%
⑧	その他	0.5%
	回答数	612



「外国の文化や生活を学ぶ講座や講演」が27.5%、「外国の料理教室」が19.1%、「外国の文化や遊びの体験」が13.9%、「外国語教室」が11.4%、「外国人居住者や留学生への日本文化の紹介」が10.8%の順になっています。

Q7 こんな国際交流都市にしたい、こんな取組が足りないなど、国際交流に関してご意見などがありましたら、ご自由に書いてください。

- 姉妹都市や友好都市との交流状況の周知が不足している。(5人)
- 交流の成果が見えない。(5人)
- 九州大学との連携・留学生との交流が必要である。(4人)
- 日本の文化や糸島の魅力を世界に発信したい。(4人)
- 国際交流の拠点・窓口がない。(4人)
- 子どもの異文化交流を充実して欲しい。(3人)
- さまざまな国と交流がしたい。(2人)
- 外国人居住者の支援が必要である。(2人)
- 大人向けの異文化交流がしたい。
- 外国企業の誘致が必要である。
- 国際交流フェスティバルを開催して欲しい。
- 国際ボランティアの育成をして欲しい。

校区及び公民館における国際交流事業

●平成 19 年度

東風校区	事業名	異文化交流会	事業主体	東風校区民会議
	実施日	12月15日	開催場所	東風公民館
	事業内容 (概要)	餅つきを通して、九州大学の留学生との異文化交流交換会を行った。		
南風校区	事業名	王さんの太極拳	事業主体	王さんの太極拳（サークル）
	実施日	毎週土曜日	開催場所	南風公民館2階 大研修室
	事業内容 (概要)	中国人講師を招き、太極拳を学ぶだけでなく中国文化の習得を行った。		
桜野校区	事業名	男性生活学級（男女協働参画）	事業主体	桜野公民館
	実施日	2月8日	開催場所	桜野公民館
	事業内容 (概要)	九州大学の留学生から料理を習い、日本人参加者は、そば打ちやお刺身、民謡、大正琴、茶道を披露し、一緒に会食しながら異文化交流会を楽しんだ。		
引津校区	事業名	子どもふれあい広場	事業主体	芥屋公民館
	実施日	9月8日	開催場所	芥屋公民館
	事業内容 (概要)	九州大学の留学生（中国からの留学生2名）を講師に招き、母国の遊びを教えてもらった。		
引津校区	事業名	まちづくり人権学級	事業主体	芥屋地区人権同和教育推進協議会
	実施日	10月29日	開催場所	芥屋公民館
	事業内容 (概要)	九州大学大学院の留学生（中国からの留学生1名）を講師に招いて、外国人から見た日本のことを話してもらった。		
引津校区	事業名	男性生活学級	事業主体	芥屋公民館
	実施日	2月19日	開催場所	芥屋公民館
	事業内容 (概要)	九州大学の留学生（中国からの留学生2名）を講師に招き、母国の料理を教えてもらった。		

●平成 20 年度

東風校区	事業名	人権講演会「人権文化のまちづくり」 留学生とのパネルディスカッション	事業主体	東風支部同協
	実施日	7月5日	開催場所	東風公民館
	事業内容 (概要)	パネルディスカッション「九大留学生から見た福岡・前原」を行った。		
東風校区	事業名	異文化交流会	事業主体	東風校区民会議
	実施日	12月20日	開催場所	東風公民館
	事業内容 (概要)	餅つきを通して、九州大学の留学生との異文化交流交換会を行った。		
南風校区	事業名	王さんの太極拳	事業主体	王さんの太極拳（サークル）
	実施日	毎週土曜日	開催場所	南風公民館2階 大研修室
	事業内容 (概要)	中国人講師を招き、太極拳を学ぶだけでなく中国文化の習得を行った。		
桜野校区	事業名	通学合宿	事業主体	桜野校区青少年健全育成会
	実施日	9月10日～12日	開催場所	桜野公民館
	事業内容 (概要)	九州大学の留学生が通学合宿に参加し、言語・文化・食など、子どもたちと寝食を共にしながら交流を深めた。		
桜野校区	事業名	異文化交流もちつき大会	事業主体	桜野校区青少年健全育成会
	実施日	12月6日	開催場所	桜野公民館
	事業内容 (概要)	九州大学の留学生と子どもや地域住民と一緒に餅をつき、丸め、食べながら異文化理解を深めた。		
引津校区	事業名	高齢者学級	事業主体	引津公民館
	実施日	10月18日	開催場所	引津公民館
	事業内容 (概要)	「九州大学留学生との異文化交流」 留学生から見た日本、日本人の思想と母国との違いを本音で語ってもらい意見交流を行った。		

●平成 21 年度

波多江校区	事業名	波多江校区文化祭	事業主体	波多江校区コミュニティ推進協議会
	実施日	11月8日	開催場所	波多江公民館駐車場
	事業内容 (概要)	文化祭の出店広場会場にて、九州大学の留学生が母国の郷土料理を出店し、食文化を通じて交流を行った。出店国：バングラデシュ、フィリピン		
波多江校区	事業名	波多江校区文化祭	事業主体	波多江校区コミュニティ推進協議会
	実施日	11月8日	開催場所	波多江小学校体育館
	事業内容 (概要)	九州大学の留学生（ペルーからの留学生）が民族舞踊を披露した。ステージでの発表を通して異文化体験と国際交流を行った。		
東風校区	事業名	異文化交流会	事業主体	東風校区民会議
	実施日	12月19日	開催場所	東風公民館
	事業内容 (概要)	餅つきを通して、九州大学の留学生との異文化交流交換会を行った。		
南風校区	事業名	王さんの太極拳	事業主体	王さんの太極拳（サークル）
	実施日	毎週土曜日	開催場所	南風公民館2階 大研修室
	事業内容 (概要)	中国人講師を招き、太極拳を学ぶだけでなく中国文化の習得を行った。		
長系校区	事業名	コミュニティカレッジ「外国の食文化」	事業主体	長系公民館
	実施日	6月から2か月ごとに1回	開催場所	長系公民館
	事業内容 (概要)	外国の料理を作ったり、文化の話を聞きながら、外国の食文化について学んだ。		
一貴山校区	事業名	コミュニティカレッジ	事業主体	一貴山公民館
	実施日	5月30日	開催場所	一貴山公民館
	事業内容 (概要)	中国の家庭料理（餃子）を作りながら、中国の文化について子どもたちも一緒に学ぶ講座を開催した。		
桜野校区	事業名	通学合宿	事業主体	桜野校区青少年健全育成会
	実施日	9月15日～18日	開催場所	桜野公民館
	事業内容 (概要)	九州大学伊都キャンパスに夜間訪問し、大学の中を見学した。また、留学生と寝食を共に過ごし交流を行った。		
桜野校区	事業名	異文化交流もちつき大会	事業主体	桜野校区青少年健全育成会
	実施日	12月12日	開催場所	桜野公民館
	事業内容 (概要)	九州大学の留学生と子どもや地域住民と一緒に餅をつき、丸め、食べながら異文化理解を深めた。		
可也校区 桜野校区 引津校区	事業名	志摩っ子チャレンジキャンプ2009	事業主体	志摩っ子チャレンジキャンプ実行委員会
	実施日	7月28～29日	開催場所	今宿野外活動センター
	事業内容 (概要)	旧志摩町立4公民館合同キャンプ 九州大学の留学生をスタッフとして派遣してもらい、子どもたちと野外活動を行った。		

アメリカ合衆国カリフォルニア州エスカンディッド市との交流経過

年 月 日	交 流 事 項	交 流 内 容
1991.10.22~30	親善訪問団派遣	市議会議員9名訪問 ▽今後の交流についての協議
1993.9.1~8	親善訪問団派遣	市議会議員9名訪問 ▽友好調印（前原市議会とエスカンディッド市の間で「宣誓書」及び「友好宣言」）
1994.4.26	前原市長からエスカンディッド市長へ文書送付	中学生の絵画交換を提案
1994.5.10	エスカンディッド市長から文書受理	中学生の絵画交換に同意
1994.8.29	エスカンディッド地方教育委員会からの手紙受理	中学校間の友好関係を発展させるため、絵画交換計画の確立を期待
1994.11.27~12.2	J.Cメンバーなど4名がエスカンディッド市を訪問	今後の交流について協議
1995.2.3	エスカンディッド市長からの文書受理	阪神大震災に対する見舞い文書
1995.3.10	エスカンディッド市の中学校から文通の手紙受理	
1995.6.29	エスカンディッド市の中学校へ文通の返事を送付	
1995.9.27~10.3	エスカンディッド市長、副市長夫妻が前原市を訪問	姉妹都市締結へ努力する合意書締結、市民まつりへの参加
1995.10.30	エスカンディッド市の中学校から文通の手紙受理	
1995.11.2	エスカンディッド市へ前原市の小学生の美術作品を送付	
1996.3.8	エスカンディッド市の中学校へ文通の返事を送付	
1996.7.1~7	姉妹都市締結のためエスカンディッド市を訪問	春田市長以下11名が訪問
1996.7.2	姉妹都市締結調印	両市民及び両国民の友好と交流を深めるための宣言
1997.10.14	共通課題と目標に関する合意	1996.7.2の姉妹都市締結に基づき、両市間の友好や教育に関する合意
1997.10.14~20	前原市商工会がエスカンディッド市を訪問	28名訪問 ▽市長表敬訪問、商工会議所と懇談
1998.11.18	エスカンディッド市在住の川田恵子氏を現地交流協力員に依頼	広報1月号（1999年）より、エスカンディッド市関連記事を掲載
1999.7.1	国際交流員ブライアン・R・ファーガソンが来日	前原市国際交流員（囑託員）として採用
2000.4.27~5.1	事務協議のため職員2名と国際交流員をエスカンディッド市に派遣	中・高生のホームステイをはじめとする今後の交流についての協議

年 月 日	交 流 事 項	交 流 内 容
2001.6.19~10.3	事務協議のため、職員2名をエスカンディッド市に派遣	中・高生のホームステイ及び国際交流員の派遣依頼
2001.7.30~8.5	市内中・高生8名をエスカンディッド市に派遣	ホームステイ
2001.7.30~8.5	市議会議員4名をエスカンディッド市に派遣	姉妹都市委員会との連携強化及び今後の交流協議
2002.4.1	国際交流員メロディ・アン・スミスが来日	前原市国際交流員（囑託員）として採用
2002.8.16~21	エスカンディッド市学生友好訪問団5名、引率者2名受入	ホームステイ
2002.9.30~10.3	エスカンディッド市姉妹都市委員会長、副会長訪問	前原市市制施行記念式典参加
2003.7.28~8.3	市内中・高生6名をエスカンディッド市に派遣	ホームステイ
2004.8.17~23	エスカンディッド市学生友好訪問団5名、引率者2名受入	ホームステイ
2005.8.17~23	市内中・高生6名をエスカンディッド市に派遣、引率者2名	ホームステイ
2006.8.3~9	エスカンディッド市学生友好訪問団5名訪問	ホームステイ、座禅、茶道体験
2007.7.30~8.7	市内中・高生5名をエスカンディッド市に派遣、引率者2名	ホームステイ
2008.7.12	エスカンディッド市学生友好訪問団派遣中止文書受理	エスカンディッド市が財政不足のため、訪問団派遣を中止

中華人民共和国上海市青浦区との交流経過

年 月 日	交 流 事 項	交 流 内 容
1992.2	前原町議会から青浦県長へ挨拶文を送付	日中友好協会糸島支部設立計画の成功に向けた文書
1993.11.2	青浦県第二中学校から前原市議会へ挨拶文の送付	前原市中学校の生徒10名、教師1名、責任者1名の訪中を依頼
1993.12.14	青浦県人民政府から前原市長挨拶文の送付	青浦県への訪問を希望する文書
1994.5	青浦県へ職員5名を派遣	交流に関する事務協議
1994.6.6	糸島地区日中友好協会への支援を決定	糸島地区日中友好協会の青浦県訪問に対する支援
1994.8.19~23	糸島地区日中友好協会による中学生友好訪問団を青浦県へ派遣	中学生12名、引率者5名
1994.9.29~10.3	青浦県副県長を団長とする友好訪問団が前原市を訪問	表敬訪問及び市民まつりに参加
1995.7	青浦県招商団が前原市を訪問	青浦県長の同僚である呉学鋒氏率いる招商団が表敬訪問
1995.8.18~22	青浦県中学生友好訪問団が前原市を訪問	県教育委員会主任を団長とする引率者6名、中学生10名（19日~20日ホームステイ）
1995.8.18	青浦県長から前原市長へ挨拶文の送付	春田市長の訪中を希望する旨の内容
1995.12.24	青浦県人民政府から前原市総務部長へ挨拶文の送付	前原市長及び民間団体の訪中を希望する旨の内容
1996.4.18~24	青浦県教育視察団が前原市を訪問	教育委員会副主任他6名（うち教師5名）
1996.8.21~26	糸島地区日中友好協会による中学生友好訪問団を青浦県へ派遣	中学生12名、引率者7名
1997.5.20~24	青浦県農業視察団が前原市を訪問	前原市国際交流協会が受入
1997.8.19~24	青浦県中学生友好訪問団が前原市を訪問	中学生12名、引率者6名
1998.5.27~30	市職員3名を青浦県へ派遣	青浦県との今後の交流についての事務協議
1998.8.6~9	友好訪問団を青浦県へ派遣	友好交流協議書締結のため、市長、市議会議員など16名を派遣
1998.8.6	友好交流協議書締結	
1998.8.6~11	中学生友好訪問団を青浦県へ派遣	中学生12名、引率者6名
1999.5.29~6.1	青浦県人民代表大会代表団が前原市を訪問	7名訪問 ▽市長・議長表敬訪問、施設視察など

年 月 日	交 流 事 項	交 流 内 容
1999.8.19~22	青浦県職業教育代表団が前原市を訪問	7名訪問 ▽市長表敬訪問、学校訪問、施設視察
1999.8.19~24	青浦県中学生訪問団が前原市を訪問	中学生12名、教育関係者4名訪問 ▽市長・教育長表敬訪問、ホームステイ、施設視察
1999.10.1~4	青浦県社区文化代表団が前原市を訪問	7名訪問 ▽市長表敬訪問、施設視察、市民まつり視察など
1999.10.15~19	前原市国際交流協会主催の文化交流訪問団が青浦県を訪問	24名訪問 ▽県長表敬訪問、民族まつり見学など
2000.1.12	青浦県が「県」から「区」へ昇格	
2000.5.8~10	友好訪問団を青浦区へ派遣	市長、議長など8名を派遣 ▽今後の交流協議及び区制施行祝い
2000.6.19~22	青浦区人民政府代表団が前原市を訪問	7名訪問 ▽市長表敬訪問、都市計画に関する懇談及び市内・福岡市視察
2000.7.6	前原市商工会が青浦区を訪問	25名訪問 ▽青浦区工商業連合会と懇談
2000.8.17~22	前原市中学生友好訪問団が青浦区を訪問	中学生12名、教育関係者6名訪問 ▽区長表敬訪問、ホームステイ、施設視察
2000.11.7~10	前原市議会代表団が青浦区を訪問	副議長を団長とする7名訪問 ▽前原市議会と人民代表大会との相互交流協議
2001.5.15~18	前原市教育委員が青浦区を訪問	教育委員長を団長とする7名訪問 ▽区長・教育局長表敬訪問、学校間交流に関する協議、中学校及び施設視察
2001.8.27~29	青浦区人民政府代表団が前原市を訪問	渠区長を団長とする7名訪問 ▽友好交流の推進に関する覚書及び追加事項に調印
2001.10.5~8	青浦区国際友好交流協会訪問団が前原市を訪問	10名訪問 ▽市長表敬訪問、施設視察、市民まつり参加
2001.10.25~30	青浦区中学生友好訪問団が前原市を訪問	中学生13名、引率者5名が訪問 ▽学校間交流
2001.11.19~22	青浦区人民代表大会代表団が前原市を訪問	7名訪問 ▽議会・市長表敬訪問、議会代表との懇談、市内視察
2002.5.7~10	前原市及び前原市議会合同友好訪問団が青浦区を訪問	12名訪問 ▽助役、市議会議員6名、随行者5名
2002.6.17~20	青浦区教育代表団が前原市を訪問	7名訪問 ▽市長表敬訪問、学校訪問、施設視察
2002.9.25~29	前原市文化交流訪問団が青浦区訪問	18名訪問 ▽民族まつり参加、施設視察
2002.9.30~10.3	青浦区人民政府代表団が前原市を訪問	6名訪問 ▽市長表敬訪問、式典参加、施設視察
2002.10.3~7	青浦区文化訪問団が前原市を訪問	7名訪問 ▽市民まつり参加、施設視察

年 月 日	交 流 事 項	交 流 内 容
2002.10.15~18	青浦区教師代表団が前原市を訪問	6名訪問 ▽市長表敬訪問、学校訪問、施設視察
2002.10.30~11.4	前原市中学生友好訪問団が青浦区を訪問	中学生12名、教育関係者6名訪問 ▽区長表敬訪問、ホームステイ、施設視察
2002.11.20~23	前原市医療交流友好訪問団が青浦区訪問	7名訪問 ▽表敬訪問、施設視察、医師交流
2003.5.22	世界的SARSの流行により、2003年度交流事業計画中止決定	5月23日巢区長宛て中止文書送付（6月6日巢区長より中止同意文書受理）
2004.8.5~9	青浦区中学生友好訪問団が前原市を訪問	中学生12名、引率者6名が訪問 ▽学校間交流
2004.10.1~4	青浦区文化訪問団が前原市を訪問	7名訪問 ▽市民まつり参加、施設視察
2004.10.12~15	前原市教師訪問団が青浦区を訪問	6名訪問 ▽市長表敬訪問、学校訪問、施設視察
2004.10.20~23	前原市文化交流訪問団が青浦区訪問	11名訪問 ▽民族まつり参加、施設視察
2004.11.8~11	青浦区人民代表大会代表団が前原市を訪問	7名訪問 ▽議会・市長表敬訪問、議会代表との懇談、市内視察
2004.11.15~18	青浦区医療衛生友好交流訪問団が前原市を訪問	7名訪問 ▽表敬訪問、施設視察、医師交流、医師会交流
2005.9.30~10.3	青浦区文化訪問団が前原市を訪問	9名訪問 ▽市民まつり参加、施設視察
2005.10.17~20	青浦区教師訪問団が前原市を訪問	6名訪問 ▽表敬訪問、学校訪問など
2005.11.2~7	前原市中学生友好訪問団が青浦区を訪問	中学生9名、教育関係者5名訪問 ▽区長表敬訪問、ホームステイ、施設視察
2005.12.19~22	前原市及び前原市議会が青浦区を訪問	9名訪問 ▽区長表敬訪問、交流事業協議、施設視察
2005.12.19	「前原市と青浦区の友好交流の推進に関する覚書の一部変更及び追加事項」調印	交流事業の見直し
2006.9.28~10.2	青浦区人民对外友好協会代表団が前原市を訪問	18名訪問 ▽市民まつり参加、施設視察
2006.10.25~30	青浦区中学生友好訪問団が前原市を訪問	中学生12名、引率者6名訪問 ▽学校間交流
2006.11.22~25	前原市文化交流訪問団が青浦区を訪問	16名訪問 ▽区政府表敬訪問、施設見学
2007.5.21~23	青浦区教師訪問団が前原市を訪問	6名訪問 ▽表敬訪問、学校訪問など、施設見学
2007.10.5~8	青浦区文化訪問団が前原市を訪問	17名訪問 ▽市民まつり参加、施設見学

年 月 日	交 流 事 項	交 流 内 容
2007.10.26~31	前原市中学生友好訪問団が青浦区を訪問	中学生11名、引率者4名訪問 ▽学校間交流
2007.11.8~11	青浦区行政交流訪問団が前原市を訪問	7名訪問 ▽表敬訪問、施設見学
2008.10.16~21	青浦区中学生訪問団が前原市を訪問	中学生12名、引率者6名訪問 ▽学校間交流
2009.5.19	青浦区教師訪問団受入及び前原市中学生友好訪問団派遣の中止を決定	新型インフルエンザの影響で中止を決定し、青浦区に文書を送付
2009.10.2~4	青浦区人民对外友好協会代表団が前原市を訪問	6名訪問 ▽表敬訪問、市民まつり参加、施設見学
2010.8.7~9	青浦区文化交流訪問団が糸島市を訪問	6名訪問 ▽表敬訪問、糸島市誕生記念式典参加、施設見学
2010.9.8~11	糸島市文化交流団が青浦区を訪問	19名訪問 ▽上海万博見学、施設見学

大韓民国金海文化院と糸島市国際交流協会の交流経過

年 月 日	交 流 事 項	交 流 内 容
1997.1.14~15	金海文化院長などが前原市を訪問	市長、教育長表敬訪問 ▽今後の交流についての申し入れ
1998.1.13~14	金海文化院長などが前原市国際交流協会を公式訪問	金海文化院長以下3名が訪問 ▽理事長表敬訪問、市内視察など
1998.4.10~12	前原市国際交流協会から韓国金海文化院へ公式訪問団及び友好訪問団を派遣	理事長以下18名を派遣 ▽調印式、金海市内施設見学、首露王陵春季大祭参加など
1998.4.10	金海文化院と友好提携協定書、中学生交流事業に関する覚書の調印式	今後の交流について調印
1999.8.6~10	金海文化院へ中学生友好訪問団を派遣	中学生12名、教育関係者5名 ▽金海市長表敬、対面式、ホームステイ、市内施設・遺跡など見学など
2000.8.9~13	金海市から中学生友好訪問団が前原市を訪問	中学生13名、教育関係者5名 ▽市長表敬及び対面式、ホームステイ、施設見学など
2001.6.6	金海文化院へ中学生友好訪問団の派遣中止決定	日本の教科書問題で、理事会で中止決定 金海文化院長に文書送付
2002.8.1~5	金海市から中学生友好訪問団が前原市を訪問	中学生12名、引率者3名 ▽市長表敬及び対面式、ホームステイ、施設見学など
2003.6.3	金海文化院へ中学生友好訪問団の派遣中止決定	新型肺炎の影響で、理事会で中止決定 金海文化院長に文書送付
2004.2.5~7	金海市へ前原市文化交流訪問団を派遣	訪問団員25名
2004.8.3~7	金海市へ前原市中学生訪問団を派遣	中学生10名、引率者3名 ▽市長表敬及び対面式、ホームステイ、施設見学など
2005.8.26~29	金海市シンフォニーエッタが前原市を訪問	金海市シンフォニーエッタ39名 ▽「日韓友情年2005」記念コンサート
2005.12.8~10	金海市へ前原市文化交流訪問団を派遣	訪問団員17名 ▽仁済大学にて韓国料理講習及びキムチ漬けなどの文化交流
2006.7.27~31	金海市から中学生友好訪問団が前原市を訪問	中学生12名、引率者3名 ▽市長表敬及び対面式、ホームステイ、施設見学、茶道体験、スポーツ交流など
2007.8.16~20	金海市へ前原市小中学生訪問団を派遣	生徒10名、引率者3名 ▽市役所・文化院、ホームステイ、施設見学、お別れパーティなど
2007.11.9~11	金海文化院訪問団が前原市を訪問	訪問団員3名 ▽前原市国際交流協会10周年記念式典参加
2008.7.31~8.4	金海市小中学生訪問団が前原市を訪問	小学生6名、中学生6名、引率者3名 ▽対面式、ホームステイ、施設見学、茶道・着付け体験など
2009.2.5~6	前原市国際交流協会から韓国金海文化院へ公式訪問	理事長を含む3名が訪問 ▽調印式
2009.2.5	金海文化院との交流一時休止に関する協議書の締結	前原市国際交流協会が、糸島市国際交流協会として新しい組織となるため、2009から2010年度事業の一時休止を決定
2010.8.8~9	金海文化院が訪問団が糸島市を訪問	3名訪問 ▽糸島市誕生記念式典、施設見学

糸島市 地域振興課 地域振興係
〒819-1192 糸島市前原西一丁目1番1号
TEL;(092)332-2062 FAX;(092)324-0239
E-mail;chiikishinko@city.itoshima.lg.jp